

2015年7月1日

日本教育制度学会会長 清水 一彦
第23回大会準備委員会委員長 井深 雄二

日本教育制度学会第23回大会のご案内

日本教育制度学会会員各位

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、来る11月7日(土)、8日(日)の両日、奈良教育大学において日本教育制度学会第23回大会を開催することとなりました。下記のとおり、大会日程をご案内申し上げます。

自由研究発表は1日目(7日)の午後、課題別セッションは2日目(8日)の午前中に設定されています。会員の皆さまにおかれましては、日ごろの研究の成果を持ち寄っていただき、教育制度研究の交流と活性化を図る機会としていただきたく存じます。

十分に行き届かない点多々あるかと存じますが、大会準備委員会におきましては、関西地区の会員の方々のご助力も得て、充実した大会になりますよう大会準備に取り組む所存です。多くの会員のご参加・ご発表を心よりお待ち申し上げます。

謹白

記

I. 大会日程

[第1日 11月7日(土)]

10:30～11:30 紀要編集委員会
11:30～ 受付
11:40～12:40 理事会
13:30～16:30 自由研究発表
17:00～18:00 総会
18:00～20:00 懇親会

[第2日 11月8日(日)]

9:00～ 受付
9:30～12:30 課題別セッション
13:30～16:30 公開シンポジウム

II. 大会会場

国立大学法人 奈良教育大学 教育学部
(奈良県奈良市高畑町)

Ⅲ.大会参加費

- ◆ 大会参加費は、正会員・臨時会員ともに3,000円です。
- ◆ 懇親会費は、正会員・臨時会員ともに4,000円です。
- ◆ なお、公開シンポジウムのみ参加は無料です。

Ⅳ.公開シンポジウム

日 時：2015年11月8日（日）13：30～16：30

場 所：奈良教育大学（101教室）

テーマ：財政危機下の教育改革－教育財政制度の今日的課題－

趣 旨：

「学制」以降の大きな教育改革（第1次大戦後の臨時教育会議の諸答申に基づく改革、第二次大戦の教育刷新委員会の諸建議に基づく改革など）を振り返って見ると、いずれも多大な教育財政の増額を前提にしていたとすることができます。しかるに、わが国の財政危機が顕在化した1970年代後半以降の教育改革は、いずれも歳出削減圧力の下に置かれてきました。1980年代の臨時教育審議会の諸答申に基づく改革が所期の成果を上げ得なかったことの一因は、財源枯渇にあったと言っても過言ではありません。その後、1990年代半ば以降、教育改革が継続的に行われていますが、いずれも制度の部分的な変更にとどまり、十分な効果を上げているとは言えません。むしろ、「教育改革」が教育費削減のために行われているかの如き様相を呈しています。

こうした現状を見るにつけ、改めて教育財政のあり方が問われているものと思われまます。本シンポジウムでは、財政危機下の教育改革を共通の問題意識としつつ、教育財政制度（改革）の今日的課題を多方面から検討してみたいと思います。

司 会：石井拓児（名古屋大学）

シンポジスト：井深雄二（奈良教育大学）	財政危機と義務教育費国庫負担制度改革論
青木栄一（東北大学）	教育分野にみる融合型政府間財政制度の頑健性—部分最適と全体最適のはざま—
末富 芳（日本大学）	教育費の公私負担の変動— 2010 年代の教育費政策を中心に—
高橋 哲（埼玉大学）	アメリカの教育財政制度改革— 2000 年代以降の連邦補助金政策に着目して—

Ⅴ.発表等の申し込み

（1）自由研究発表

本学会員による「自由研究発表」（大会1日目）を募集します。奮ってご応募ください。

①発表時間：

個人研究、共同研究ともに計40分（発表20分、質疑応答15分、指定討論5分）です。

②申し込み方法：以下のいずれかの方法でお申し込みください。

- ◆郵送の場合：別添の「自由研究発表申込用紙」（日本教育制度学会ウェブサイトからもダウンロード可）に必要事項をご記入の上、大会準備委員会宛お送りください。

◆Eメールの場合：「自由研究発表申し込み用紙」の各事項についてご記入の上、添付ファイルにてお送りください。（送り先:jseso.taikai23@gmail.com）

③指定討論者について：

発表者は、本学会員の中から指定討論者を決め、その承諾を得てからお申込みください。

④申込期日（締切）：**8月21日（金）** 消印有効

⑤発表申込留意事項

◆発表者は、事前に指定討論者の方と連絡をとり、発表用資料（レジュメ等）に目を通していただくよう段取りをお願いいたします。

◆万一、やむを得ない理由により発表を取りやめる場合は、速やかに大会準備委員会までご連絡ください。なお、発表取りやめになった場合でも、次の発表を繰り上げることはいたしません。

(2) 課題別セッション

本学会は、教育制度に関する最先端の研究課題として取り上げるテーマ・事項について、一層の理論的深化・充実を図る場として、「課題別セッション」（大会2日目）を設けています。共同研究の企画について積極的な提案を期待しています。

①申し込み方法

企画のある方は、別添の「課題別セッション申込用紙」（日本教育制度学会ウェブサイトからもダウンロード可）に必要な事項（300字程度の企画趣旨を含む）をご記入の上、大会準備委員会までお送りください。自由研究発表と同様、郵便もしくはEメールでお願いいたします。

②申込期日（締切）：**8月21日（金）** 消印有効

(3) 共通事項

①発表資料

◆発表者は、発表用資料を30部程度ご用意ください（会場でのコピーはできません）。

◆直接ご持参いただく場合は、当日、各会場におります係にお渡しください。

◆大会事務局に郵送される場合は、あらかじめその旨をご連絡いただいた上で、10月31日（金）必着でお願いいたします。

②PowerPointをお使いになる場合

◆申し込み時にPowerPointを使用予定である旨をご連絡いただいた方の会場には、プロジェクターならびにWindows 8 PCを配置いたします。

◆当日はデータファイルのみ「USBメモリ」に入れてご持参ください。ただし、Windows 8上で動作することをご確認下さい。

VI. 宿泊について

大会参加のための交通機関ならびに宿泊につきましては、大会期間が、奈良国立博物館における秋の正倉院展と重なりますので、お早めに予約されることを強くお勧めします。

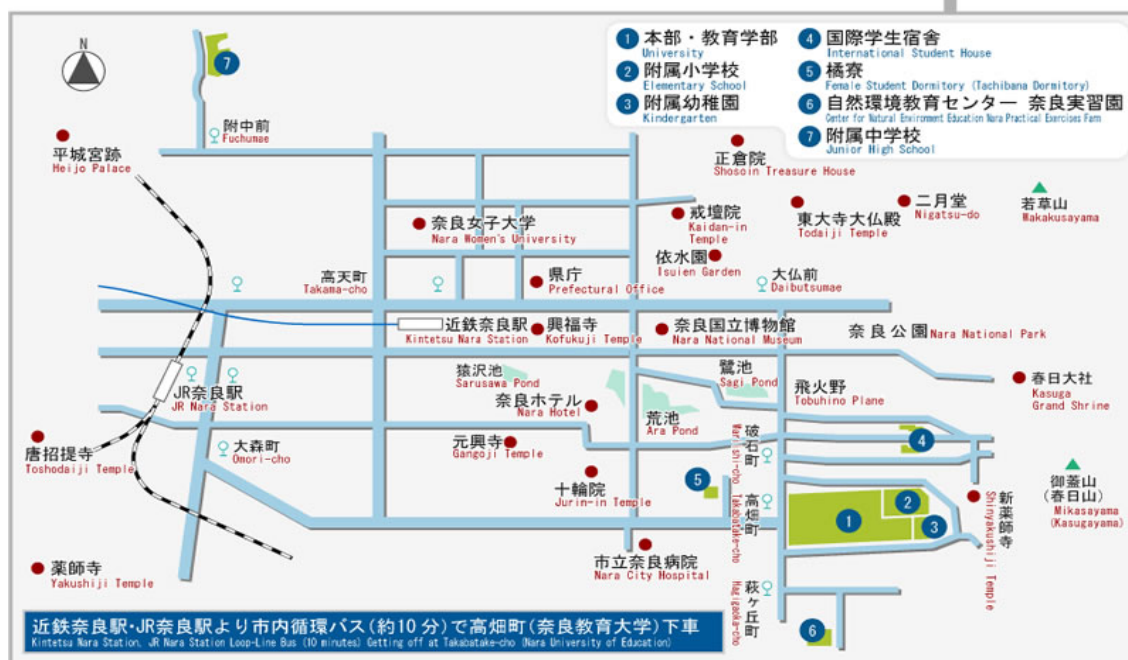
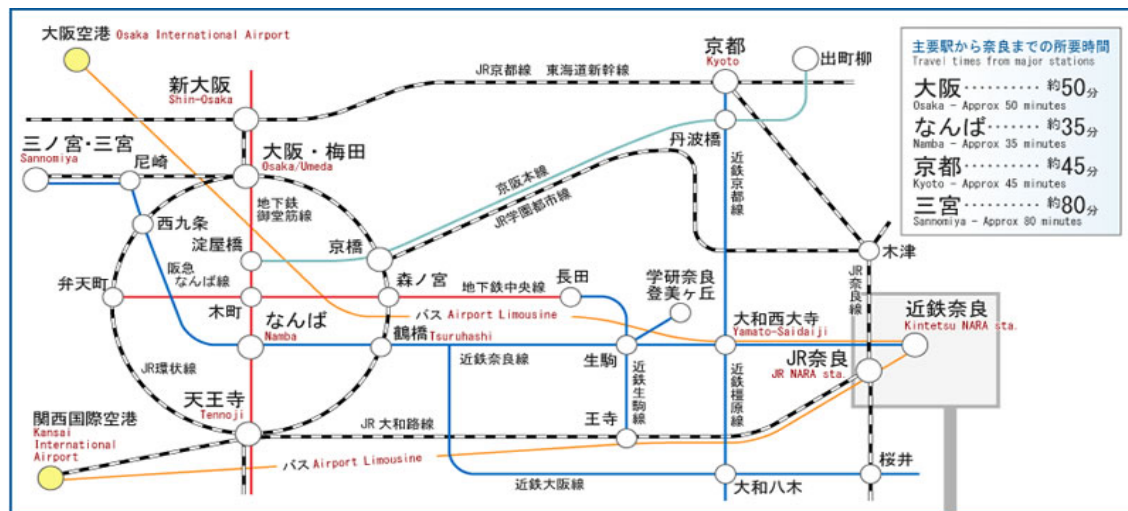
既に主なホテルは予約が困難になっていますので、一定数を確保してあります。同封の宿泊申し込みをご利用下さい。但し、定員になり次第締め切らせていただきます。

なお、京都駅近辺や大阪難波近辺の宿泊でも大会会場へ1時間ほどで着くことができます。

VII. 会場までのアクセス

会場は、奈良教育大学です。駐車規制がありますので、自家用車でのご来場はご遠慮ください。会場までのアクセスの概要は、次の通りです。

JR 奈良駅又は近鉄奈良から市内循環バス乗車(210 円)、高畑町(奈良教育大学)下車。



VIII. 事務局連絡先・申込書送付先

〒 630-8528 奈良県奈良市高畑町 奈良教育大学 井深研究室

日本教育制度学会第 23 回大会準備委員会事務局

Tel/Fax 0742-27-9261 (井深)

E-mail : jseso.taikai23@gmail.com

(第 23 回大会用アドレスです。学会事務局のアドレスではないのでご注意ください。)

(可能な限り Eメールもしくは郵便でご連絡ください)

日本教育制度学会ウェブサイト: <http://www.gakkai.ac/jseso/>